

「第 12 回 コロキウム構造形態の解析と創生 2017」講演論文と形態創生コンテスト作品の募集

〈コロキウムの趣旨〉

近年の建築の設計プロセスにおける3D-CADやBIMの利用は、意匠、構造、設備、施工の連携を強め、また、これまで不可能であった複雑な形態の構造物の建設も可能にしました。また、デジタル・ファブリケーションの技術が普及し、建築のデザインに大きな変化を与えつつあります。実現可能な建築表現の自由度が急速に増すなかで、建築物の形態をどのように決定すべきかという問題について、今後更に深く考えていく必要があります。

本コロキウムは2006年度から毎年開催しており、今年で12回目を迎えます。これまでに、構造形態創生、構造最適化、アルゴリズム・デザインといった建築構造物の形態を創り出すための理論・技術に関する研究や、実際のデザインへの応用事例などが数多く紹介され、活発な議論が展開されてきました。これらの理論・技術は一過性のものではなく、本質的なニーズの上に成り立った重要な建設技術であり、新しいコンセプトや最新のアルゴリズムなどを取り入れながら、議論を重ねて今後も発展させていく必要があります。

本年度開催する「第 12 回 コロキウム構造形態の解析と創生 2017」では、これまでと同様に形態創生の理論・技術に関わる研究者、技術者が一堂に会して最新の情報を交換すると同時に、理論・技術だけでなく、それらを具体的な建築物、プロジェクトなどに応用した事例紹介についても議論することで、これらの研究・技術分野が益々発展することを期待して開催されます。

〈主催〉

日本建築学会 構造委員会 シェル・空間構造運営委員会 構造形態創生小委員会
応用力学運営委員会 構造最適化と設計小委員会

開催期日—2017年10月19日(木)、20日(金)

会場——建築会館ホール(東京都港区芝 5-26-20)

講演論文の募集要項と形態創生コンテストの募集要領は以下の通りです。詳細は「第 12 回 コロキウム構造形態の解析と創生 2017」ホームページ <http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s17> をご覧ください(本会ホームページより入ることもできます)。特に、形態創生コンテスト参加希望者は必ずホームページにて詳細を確認してください(過去のコロキウム2006-2016の様子、発表論文題目、形態コンテストの入賞作品等も掲載しています)。

■ 講演論文の募集要項

A. 募集の概要

講演論文は、昨年度より研究論文と技術報告のふたつのカテゴリーに分けて募集しています。研究論文は、構造物の形態を創り出すための理論・技術に関わる研究を対象とします。技術報告は構造形態を創り出すための理論・技術を具体的な建築物、プロジェクトなどに応用した事例紹介を対象とします。また、技術報告の原稿は、原稿頁数2頁以上6頁以内と簡素化できるようにしています。いずれも構造力学的な手法に限定せず、材料、生産、計画、環境の視点からの構造形態に関するアプローチなど、幅広い内容の発表も歓迎します。また、既発表のものでも新たに纏めたものであれば申し込みを受け付けます。ぜひ奮ってご応募ください。

B. 応募資格

講演論文の発表者は、日本建築学会個人会員(準会員を含む)とします。なお、グループや団体による成果を発表する場合、発表者の適格性(発表の諒解)について本会は責任を持ちません。

C. 講演発表登録(申込み)

2017年7月27日(木)8月24日(木)までに、下記の事項を明記の上、

E-mail: collopaper@aij.or.jp 宛に提出してください(形式は自由とします)。

1)講演題目、2)講演カテゴリー(研究論文、技術報告いずれかを記入)、3)著者および勤務先(連名の場合は発表者に○印を付す)、4)連絡先住所、電話番号およびE-mailアドレス、5)2017年12月31日時点での発表者の年齢(省略可、優秀講演表彰のため)、6)講演概要(300字程度)

コロキウム実施組織にて講演の採否を決定し、2017年8月11日(金)9月1日(金)までに本人にE-mailにて通知します。

D. 講演論文提出締切日

採用決定者は講演論文の原稿を2017年9月22日(金)までに、所定の執筆要領(採用通知の際に添付します)に従い、WordまたはPDF形式にて提出してください。原稿はA4用紙サイズ(文字サイズ10pt、2段組)

で作成し、頁数は研究論文の場合は6頁、技術報告の場合は2頁以上6頁以内とします。

E. コロキウム資料集

提出された講演論文はコロキウム資料集(USB メモリ)に収録し、会場にて頒布いたします。また、この資料集は適切な時期に本会あるいは本会が許諾したウェブサイトから一般公開される予定です。

F. 発表時間

発表はコロキウム開催日の2日目(2017年10月20日(金))に行い、発表時間は1題17分程度(発表:12分程度、質疑:5分程度)を予定しています。

G. 著作権

- 1) 著者は、著作権を本会に委託していただきます。ただし、本会は、第三者から文献などの複製・引用・転載に関する許諾の要請がある場合には、原著者に連絡し許諾の確認を行うものとします。
- 2) 著者が、自分の講演論文を自らの用途のために使用することについての制限はありません。なお、掲載された講演論文をそのまま他の著作物に転載する場合には、出版権に関わりますので本会に申し出るものとします。
- 3) 講演論文の出版権は、本会に帰属するものとします。

H. 優秀講演の表彰

コロキウム2008から、学生、若手研究者・技術者を対象に、優秀な講演を選考して表彰しています。詳細は「コロキウム構造形態の解析と創生2017」ホームページをご覧ください。

I. 講演申込み・問い合わせ先

講演論文事務局 E-mail アドレス: collopaper@aij.or.jp

■ 形態創生コンテスト2017の応募要領

A. コンテストの趣旨

形態創生における種々のアイデアを適用して、建築空間や構造物などの「新しいかたち」や「独創的な形態創生手法」を提案いただくコンテストです。専門分野にかかわらず、多くの方々に参加いただいて、形態創生のおもしろさや可能性を感じていただければと思っています。本コンテストでは、形態創生のフリーウェアも提供しています。一方、コンピュータプログラムや汎用ソフトによらない手法で、「かたち」を創生するアイデアも可能です。多くの方々からの応募を期待しています。

B. 課題(テーマ)

「温故知新でレガシーとなる構造物を創生する」

かつて1964年に開催された東京オリンピックでは、国立代々木競技場をはじめ、素晴らしい建築物が数多くつくられました。そして、2020年には「アクション&レガシー」をひとつのキーワードとして、同じく東京を舞台に開催されることが決まっています。「レガシー」には「遺産」という意味がありますが、古代から近代まで、どの時代にもすぐれた建築物があり、我々はそこからコンセプトや技術を受け継いで、新たな建築空間の創生を試みてきました。

「第12回 2017年度形態創生コンテスト」のテーマは、「温故知新でレガシーとなる構造物を創生する」です。現代の技術の一翼を担うコンピュータを使うもよし、“古きをたずね求めて使わず”としても構いません。先人たちが築き上げてきた思想やイメージ、または技術にインスピレーションを受けて、次世代の「レガシー」となる構造物を創生してみませんか。

C. 応募資格

個人あるいは個人を代表者としたグループとします。なお、同一の個人または代表者名での複数の応募をすることはできません。

D. 審査委員(50音順・敬称略)

審査委員長:

中田捷夫(株式会社中田捷夫研究室)

審査員:

市川創太(ダブルネガティブスアーキテクチャー、都市研究室エイチシーラボ)

大崎 純(京都大学)

佐藤 淳(東京大学)

特別審査員(特別講演講師):

加藤史郎(豊橋技術科学大学名誉教授)

舘 知宏(東京大学)

E. コンテストエントリーおよび作品提出締め切り

応募エントリー:

応募希望者は、2017年7月27日(木)8月24日(木)までに、【氏名(グループの場合は代表者と構成員の氏名)・所属・電話番号】を明記の上、コンテスト事務局E-mailアドレスまで申し込んでください。エントリー番号を返信します。

作品提出:

2017年8月31日(木)までです。郵送の場合は、当日消印有効とします。

F. 提出物

提出する作品をA3判(横使い)2枚にレイアウトしてください。形態のCG化や着色などは自由です。模型写真の使用は可能ですが、模型自体は提出できません。作品には応募者名や応募者を特定できる記号などを記入することはできません。それぞれのA3用紙裏側にはエントリー番号と応募者名の明記をお願いいたします。あわせて、提出作品のPDFファイルをCDなどのメディアに保存して提出してください。なお、提出作品に同封して郵送してください。

G. 表彰

応募された作品をもとに入選者を若干名選出し、2017年9月下旬までに通知します。入選者は、「第12回 コロキウム構造形態の解析と創生2017」において作品のプレゼンテーションができます。同日、審査委員会による公開審査にて、最優秀作品や優秀作品などを決定し、入選作品とともに表彰状を授与します。

これらの作品は、「第12回 コロキウム構造形態の解析と創生2017」論文集に収録するほか、日本建築学会シェル・空間構造運営委員会ホームページ等に掲載する予定です。

H. その他

- ① 応募図面その他は返却しません。
- ② 入選作品の著作権および特許権は応募者に帰属しますが、「建築雑誌」、本会ホームページへの掲載や日本建築学会編の出版物(電子出版物を含む)への無償での使用を条件とします。
- ③ コンテスト提出物中の写真や図版などコンテンツについては、入選作品が資料集およびホームページに掲載される関係で、著作権が応募者に帰属しないものについては、応募者自身で許諾を受けたうえで著作者等を明記するものとします。掲載できない場合がありますので、注意してください。
- ④ 構造形態の解析と創生小委員会のホームページで、形態創生のフリーソフトウェアを公開しています。これらのプログラムを用いた提案も歓迎しますが、その場合はその旨を作品中に「注」として示してください。
- ⑤ 応募要領に関する質問は、2017年6月16日(金)までコンテスト事務局E-mailにて受け付けます。質問に対する回答をまとめて、2017年6月23日(金)までに、「第12回 コロキウム構造形態の解析と創生2017」のホームページに掲載する予定です。
- ⑥ 本要項に追加変更がある場合は、「第12回 コロキウム構造形態の解析と創生2017」のホームページに掲載しますので、ご注意ください。

I. コンテストエントリー・問い合わせ先

コンテスト事務局E-mailアドレス: collocontest@aij.or.jp

J. コンテスト作品提出先

〒171-0021

東京都豊島区西池袋 4-15-1-101

一級建築士事務所 Eureka 永井拓生 宛

資料集の刊行について

本コロキウムの講演論文と形態創生コンテスト入選作品および形態関連の情報を編集し、資料集を刊行する予定です。なお、2015年度より資料集は紙媒体ではなく、USBメモリに収録して配布しております。

ホームページ: <http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s17>

全体に関する問い合わせ先: コロキウム事務局 E-mail アドレス colloquium@aij.or.jp